「デジタルアーカイブ学会誌」　巻　 号　原稿提出票

原稿種別：

□依頼原稿　□投稿原稿

記事種別

□巻頭言　□論説・提言

□研究論文　□事例/調査報告　□技術解説　□動向解説　□集会報告　□製品紹介　□書評

□その他 ( )

和文標記

|  |  |
| --- | --- |
| 標題 |  |
| 抄　録：（２５０～３００字）(「研究論文」、「事例/調査報告」のみ) |
| 和文キーワード：（３～７個）(「研究論文」、「事例/調査報告」のみ) |

英文標記

|  |  |
| --- | --- |
| Title |  |
| Abstract :(80 – 120 Words) (「研究論文」のみ) |
| Keywords : (3 – 7 Words) (「研究論文」のみ) |

「デジタルアーカイブ学会誌」　原稿テンプレート

**本文作成にあたって**

1. 全般

1. 次ページからの原稿は，下記のページ設定がなされていますので，設定を変更なさらないようお願いいたします。行番号も削除しないでください。
[設定内容]
 １ページは，２６文字×４０行で設定されています。
2. 余白／上20mm 下15mm 左30mm　右83.7mm
 桁数26字（字送り10.5pt）
 　※桁数指定で標準の字送りとしています。
 行数40行（行送り18.55pt）
3. 図表は，挿入場所を本文内に記入頂き，図表データは別データでご提出ください（Word原稿に図表を貼り付けますと解像度が落ち，仕上がりに影響します）。オンライン公開されますので，解像度の良いものをご提出ください。冊子体ではモノクロ印刷になるため，できるだけモノクロの図表の提出をお願いします。カラーで提出される場合は配色などにご注意ください。

2. 予定ページ数 (図表も含む)

バナー・タイトル・抄録等を除いた字数となります。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **記事種類** | **刷り上がり****ページ数** | **原稿ページ数** | **字数****(文章のみの場合)** |
| 巻頭言 | 1 | 2 | 1,500 |
| 論説・提言 | 2 | 4 | 3,200 |
| 研究論文 | 5  | 9 | 9,000  |
| 事例/調査報告 | 4  | 7 | 7,000  |
| 技術解説 | 2 | 4 | 4,000 |
| 動向解説 | 2 | 4 | 4,000 |
| 集会報告 | 1 | 2 | 1,500 |
| 製品紹介 | 2 | 4 | 4,000 |
| 書評 | 1 | 2 | 1,500 |
| その他 |  |  |  |

**次ページより作成してください。サンプル文字は削除してかまいません。**

**※原稿作成後，このページ（p. 2）は削除してご提出ください。**

1. はじめに

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６

2. 章見出し

2. 1 節見出し

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５

3. 章見出し

3. 1 節見出し

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５

3. 1. 1 項見出し

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６(1) 細目見出し

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５

n. おわりに

１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６１２３４５６７８９０１２３４５６７８９０１２３４５６

註・参 考 文 献

※参考文献はSIST02または、国際的な標準記法 (Chicago Manualなど) に準拠して作成してください。SISTでは雑誌記事の記載は，年，巻，号，ページの順番になります。詳細は「原稿執筆の手引き　細則」を参照ください。

例：(SIST準拠の場合)

1. 蒲生英博. 大学図書館における評価指標報告書(Version 0)の作成とその後の動向　－特に電子図書館サービス関係評価指標について―. 情報の科学と技術. 2004,vol.54, no.4, p.183-189. （雑誌の場合）
2. Kircz,J.G.; Bleeker, J. The use of rational databases for electronic and conventional scientific publishing. Journal of Information Science.1987,vol.13, p.65-126.　（洋雑誌の場合）
3. 筑波大学附属図書館. 電子図書館用計算機システム仕様書. 平成17年6月20日
http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/dl/spec\_jul.pdf
［accessed 2007-09-05］（参照日を入れてください）

※作成後，この例は削除してご提出ください。